



#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・中津日田道路「耶馬溪道路」、国道212号響峠バイパスや国道217号平岩松崎バイパス(一部区間)などの開通により、集落間の連携・交流が促進された。
②	・大分市の骨格を形成しICへのアクセスを向上させるため、都市計画道路庄の原佐野線下郡工区の用地取得を推進した。 ・自転車走行空間の整備を進める国道442号宗方拡幅において、一部区間を供用したことで自転車利用環境の創出を行った。 ・「リボン197協議会」の提言に基づき県都の顔となる国道197号の日本銀行大分支店から大分県農業会館までの再編工事を推進した。 ・宇佐市の安心院支所前でラウンドアバウトを本格導入した。
③	・子どもや高齢者等が円滑に乗降できるように、バス停部の歩道の嵩上げを行い、利便性の改善を図った。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	(公)道路改良事業	—	368
	道路改良事業	—	372
②	街路事業	—	372
③	共生のまち整備事業	—	93

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(R2.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路庄の原佐野線下郡工区の早期完成に向け、継続的な事業の推進をお願いする。</li> <li>・国道197号の鶴崎橋、乙津橋4車線化事業の促進をお願いする。</li> </ul> <p>○滝尾・明野地区促進期成会からの要望(R2.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路庄の原佐野線下郡工区の早期完成と合わせ宗麟大橋完成以降生じている交通渋滞緩和に向けた発展的な検討を要望する。</li> </ul>	<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(R2.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備を円滑に進めるための財源確保並びに道路整備の推進について特段の配慮と国への一層の働きかけをお願いする。</li> <li>・都市計画道路庄の原佐野線の早期整備</li> <li>・国道197号鶴崎地区の4車線化の早期整備</li> <li>・国道442号(上宗方～市間)の早期整備</li> </ul>
--	--

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要地方道中津高田線(今津)、三重新殿線(牟礼前田、秋葉内田)など産業・生活を支える道路や、県道古江丸市尾線(葛原～丸市尾)など集落間の連携・交流を支える道路整備を引き続き推進する。</li> <li>・大分都市圏をはじめとした都市部において未だ慢性的に渋滞が生じている箇所も多いことから、都市計画道路庄の原佐野線、国道197号(鶴崎拡幅)、国道442号(宗方拡幅)等の整備を進め渋滞緩和を図る。</li> <li>・湯けむり景観を向上させる別府市鉄輪地区の国道500号の無電柱化など、快適な都市空間の形成を図る。</li> </ul>